

「日本再興戦略」改訂2014の概要

改訂の基本的考え方

- この1年間、「3本の矢」によってもたらされた変化を一過性のものに終わらせず、経済の好循環を引き続き回転させていく。
- そのため、日本の「稼ぐ力＝収益力」を強化。同時に、「日本再興戦略」で残された課題（働き方、医療、農業等）にも対応。
- デフレ状況から脱却しつつある今こそがラストチャンス。企業経営者や国民一人一人に、具体的な行動を促していく。

改革に向けての10の挑戦

1. 日本の「稼ぐ力」を取り戻す

「企業が変わる」～「稼ぐ力」の強化

- ① 《コーポレートガバナンスの強化》
 - コーポレートガバナンス・コードの策定
- ② 《公的・準公的資金の運用の在り方の見直し》
 - GPIFの基本ポートフォリオ、ガバナンス体制の見直し
- ③ 《産業の新陳代謝とベンチャーの加速、成長資金の供給促進》
 - 大企業を巻き込んだ支援、政府調達への参入促進、ICJ等の供給

「国を変える」

- ④ 《成長志向型の法人税改革》
 - 数年で法人実効税率を20%台まで引き下げることを目指す
- ⑤ 《イノベーションの推進とロボット革命》
 - 革新的な技術からビジネスを生み出すナショナルシステム
 - ロボットによる社会的課題の解決と新たな産業革命

2. 担い手を生み出す～女性の活躍促進と働き方改革

- ⑥ 女性の更なる活躍促進
 - 学童保育の拡充
 - 女性就労に中立的な税・社会保障制度等の実現

- ⑦ 働き方の改革
 - 働き過ぎ防止のための取組強化
 - 時間ではなく成果で評価される制度への改革
 - 多様な正社員の普及・拡大
 - 予見可能性の高い紛争解決システムの構築

- ⑧ 外国人材の活用
 - 外国人技能実習制度の見直し
 - 製造業における海外子会社従業員の受入れ
 - 特区における家事支援人材の受入れ
 - 介護分野における外国人留学生の活躍

3. 新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成

- ⑨ 攻めの農林水産業の展開
 - 農業委員会・農業生産法人・農業協同組合の一体的改革
 - 酪農の流通チャネル多様化
 - 国内外とのバリューチェーンの連結（6次産業化、輸出の促進）

- ⑩ 健康産業の活性化と質の高いヘルスケアサービスの提供
 - 非営利ホールディングカンパニー型法人制度（仮）の創設
 - 個人への健康・予防インセンティブの付与
 - 保険外併用療養費制度の大幅拡大

成長の成果の全国波及

- 地域活性化／中堅・中小企業・小規模事業者の革新
 - 地域活性化施策をワンパッケージで実現するプラットフォームの構築
 - 中堅・中小企業・小規模事業者によるふるさと名物応援と戦略産業の育成
 - 地域ぐるみの農業の6次産業化、酪農家の創意工夫、魅力ある観光地域づくり
 - PPP/PFIを活用したインフラ運営の実現

- 地域の経済構造改革
 - 都市機能や産業・雇用の集約・集積とネットワーク化
 - 東京への人口流出の抑制
 - ⇒ 司令塔となる本部の設置、政府一体の推進体制の構築

更なる成長に向けた対応 → 実現し進化する戦略／経済の好循環のための取組の継続／改革への集中的取組み（国家戦略特区の強化等）